

# 鶴の声

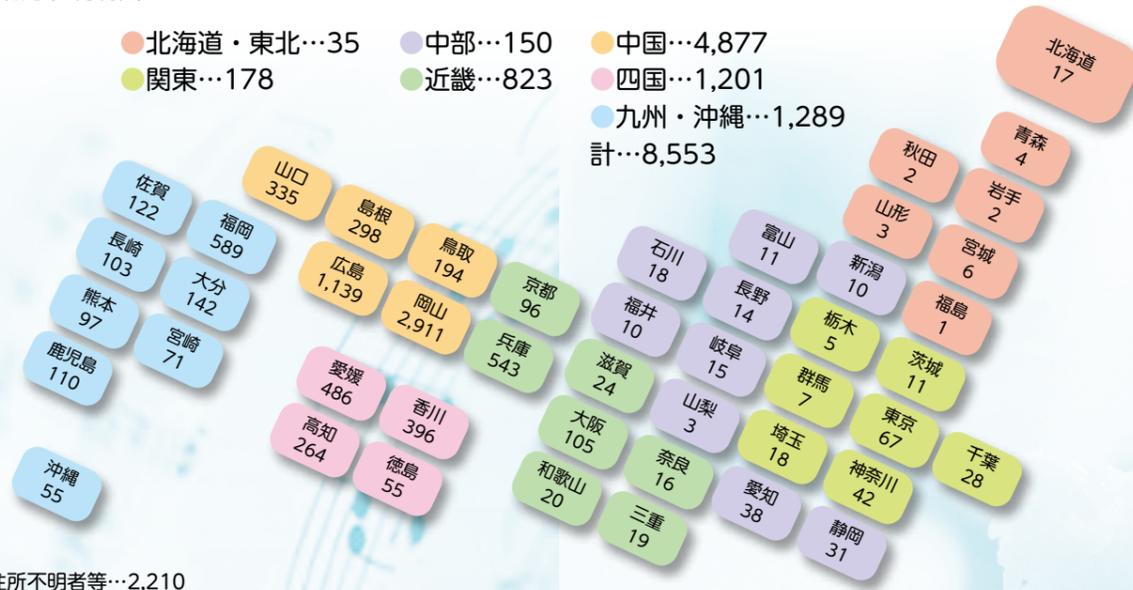
## 鶴声会役員紹介

会長	副会長	常任幹事	幹事
安部 欽也	片山 嘉政	長瀬 敏和 菅付 章宏 赤松 英彦 森 博文 鬼本 敏男 室家 典子 重利 和徳 元吉 恵子 板野 直子 中井 章徳	
幹事	事務局長	事務局	会計 書記
野村 尚子 窪田 紀之 田井 志帆子 岡村 晃平 杉山 里緒 小山 陽介 武田 真理子 舘 一彰 林 慶祐 逸見 奈保 平松 朋子 居川 寛子			
書記	監査	顧問	
伊藤 諒美	桐野 顕子 徳永 晶子 菊井 勝 中桐 實 大林 史明 松井 輝善 井端 豊実		

## 各県別会員数

(令和元年5月現在)

- 北海道・東北…35
- 中部…150
- 中国…4,877
- 四国…1,201
- 近畿…823
- 九州・沖縄…1,289
- 計…8,553



## 会長あいさつ



くらしき作陽大学鶴声会

副会長 片山 嘉政

(音楽学部音楽学科平成2年3月卒業)

最初に会員のみなさまにご報告をさせていただきます。平成28年に就任いただいた安部欽也会長から、現在の仕事の関係で兼職ができなくなったので会長職を辞したいとのご相談がありました。これまでも継続してお引き受けいただいてきたのですが、誠に残念でなりません。やむを得ず、今回の総会までは、私、片山が会長代理をさせていただくことになりましたので、未熟ではありますが、ご指導、ご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。次期会長については、顧問、事務局長、幹事と相談の上、次回総会でお諮りしたいと思います。

これまで安部欽也会長には、同窓会活動、各県支部総会、県支部主催演奏会等の事業に数多くご出席や応援もいただくなど多くのご縁を結んでいただき、本当にありがとうございました。重ねて、お礼を申し上げたいと思います。

最後になりましたが、令和となり会報誌第9号の会報誌が発刊できたことを大変うれしく思います。今年度会員も1万名を超え、ますます会の充実が望まれるようになりました。各県支部でも総会だけでなく、演奏会や講演会など幅広い活動とともに、地域において卒業生と在学生の活躍の場を設けていただくなど、関係の皆様には大変お世話になり、感謝申し上げます。また同窓会鶴声会幹事会においても食文化学部、子ども教育学部の卒業生を迎えて令和の時代をスタートしましたので、引き続き会へのご指導などお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

## 学長あいさつ



くらしき作陽大学

学長 松田 英毅

学是の「念願」の意味

大学の入学式や卒業式では、学是「念願は人格を決定す 継続は力なり」の話をしています。大学へ入ってから、あるいは社会人になってから、将来の目標、目的を定め、努力精進を継続するところにその人の人格が形成され、目的を達成できるという意味だと話しています。

この言葉はもっと深い意味があります。「念願」は念願する人(私)の背後の人の願いでもあるのです。「幸せであれ、元気であれ」と生まれたときから常に願っている親(母)の願いでもあります。

今年5月に元号が令和に変わりましたが、代々の天皇は、いつも国民一人ひとりの安寧を祈っておられるのです。私たち自身は、天皇からも「無事であれ」と日々願われている存在です。

さらにアマダ仏からも、「いきいきと生きよ」と願われているのです。人は、母の胎内に生命の灯がついたときから、どんな時でも休むことなく、心臓は働き続けます。生きることをやめたいほど苦しいときでも心臓は、「がんばっておくれ。元気で生きよ」と動き、私を生かしてくれています。このような、人知のおよばないはたらきを、大なるものとか、神仏のはたらきと言いますが、本学ではアマダ仏のはたらきで生かされているといえます。

学是の「念願」の言葉には単に私一人の「念願」ではなく、親(母)や天皇やアマダ仏からの熱い願いがこめられているのです。

## 各県支部活動のご報告

### 米子支部

2018年12月7日(金)米子市内にて同窓会鶴声会米子支部総会が開催されました。木村一也支部長より挨拶の後、同窓会鶴声会会長代理で片山副会長より同窓会鶴声会各地域での活動の取り組みが報告されました。また、竹内音楽学部長より大学の近況報告、新名音楽学科長より音楽学科の近況報告、菅付短大専攻長より演奏会報告がなされました。当日参加された米子近隣地域の方々と懇親を深め、米子支部として吹奏楽楽器クリニックなど事業を検討することとなりました。



### 広島県支部

2019年1月25日(金)広島市内にて同窓会鶴声会広島県支部総会が開催されました。下田琢己支部長より挨拶の後、松田英毅学長挨拶、竹内音楽学部長による大学近況報告がなされました。また、音楽指導者向け講座 竹内京子先生によるレクチャーコンサートの報告と次年度も同様の講座を広島県支部として主催することが図られ承認されました。



### 同窓会広島県支部主催 竹内京子先生 によるレクチャーコンサート開催

2018年10月27日(土)カワイ広島センター パーチェホールにて同窓会広島県支部主催竹内京子先生によるレクチャーコンサートが開催されました。下田琢己支部長より挨拶の後、竹内京子先生による演奏と演奏上の注意点、楽曲解説、また指導される場合の効果的な指導法など丁寧な講座が開催されました。当日参加されていたピアノ指導者の方からは、「現在、指導している楽曲でしたので、非常に参考になりました。また先生のピアノの音色が非常に魅力的でした。今後の指導の参考にさせていただきます。」と非常に満足された表情でコメントいただきました。



### 山口県支部

2019年3月8日(金)下関市内にて同窓会鶴声会山口県支部総会が開催されました。澄川孝子支部長より挨拶の後、松田英毅学長挨拶、竹内音楽学部長による大学の近況、演奏会の様子の報告がなされました。今回の初企画として菊地保様、森博文准教授によるミニコンサートも披露されました。



## 各県支部活動のご報告

### 愛媛県支部

#### 第2回くらしき作陽大学同窓会愛媛県支部 作陽音楽コンクール ～ピアノ部門～ 開催

2019年8月31日(土) 愛媛県西条市丹原文化会館にて第2回くらしき作陽大学同窓会愛媛県支部 作陽音楽コンクール ～ピアノ部門～が開催されました。

未就学児、小学校1年生～3年生、小学校4年生～6年生、中学生、高校生・一般にわかれ62名の方々が出演されました。コンクールを開催するにあたり、鳥生慎三支部長(大会委員長)をはじめ、上甲廣文実行委員長、県支部役員のみなさまのご協力を得て、非常に素晴らしいコンクールの運営でした。今回も出演された方々の演奏が終わると審査員の方から今後に向けて練習方法などの1分間アドバイスをいただきました。コンクールが終わったあとの審査員の先生方との記念写真も多くの方が列を作ってお待ちいただいていた様子でした。



コンクール審査様子



演奏後の審査員による1分間アドバイス



審査結果様子



コンクールを終えて審査員の先生方との記念撮影

### 高知県支部

#### 高知県人会第11回ミニコンサート 開催

鶴声会高知支部長 池上 恭一

2019年8月31日(土) 作陽高知県人会第11回ミニコンサートを開催致しました。翌日9月1日には森博文准教授によるホルンクリニックも開催致しました。高知支部では5年毎に開催する記念演奏会と毎年開催するミニコンサートが毎年の夏の行事です。定員200人の会場に167名のお客様をお迎えしました。第1部は学生や卒業生による個人の演奏。学生5組、卒業生4組による演奏でした。高見先生や揃先生の出演も目を引きました。そして、二部は念願であったホルンの森博文先生のステージでした。独奏「ポエム」と森先生の教え子との共演でホルン四重奏で「4本のホルンのための協奏曲」を演奏。華麗なテクニックと豊かな音楽表現で観客を魅了し、鳴り止まない拍手を戴きました。第3部は高知県人会合唱団です。今年は「レクイエム」フォーレ作曲を抜粋で演奏しました。来年は全曲演奏の予定です。今年は中高生の観客も多く嬉しい集客状況となりました。翌日のホルンクリニックでは、中学生、高校生、大学生が参加。午前初心者16名、午後中上級者20名の参加でした。森先生は大事なポイントを的確に指導され、参加者の皆さんにはすごく喜んで戴きました。今回の事業開催にあたってくらしき作陽大学、鶴声会の皆様には高知県の音楽文化の向上に大きく寄与していただきましたことたいへん感謝致しております。ありがとうございました。



### 鹿児島県支部

#### 第9回同窓会鹿児島県支部スプリングコンサート開催

2019年5月10日(金) サンエール鹿児島にて第9回スプリングコンサートが開催されました。当日は上白木支部長のご挨拶の後、ソロ演奏をはじめ特別ゲスト長瀬敏和先生、森博文先生とのアンサンブルまで幅広いプログラムが披露されました。

当日250名のみなさまにお越しいただき、質の高い演奏を楽しんでいただきました。次年度は第10回ということで記念演奏会が計画されています。



## 受章・受賞のお知らせ

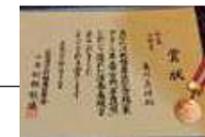
### 瑞宝双光章受章

音楽学部音楽学科打楽器を1971年3月に卒業された安富敏明さんが元公立小学校校長としての教育功労を称えられ、2019年春の叙勲にて瑞宝双光章を受章されました。



### 利根英法記念邦楽コンクール奨励賞受賞

亀川 真理 さん 卒業年:平成27年 くらしき作陽大学大学院 邦楽専修



受賞の賞状等

2019年1月13日に東京四谷区民ホールにて行われた、全国で唯一の古典曲のコンクール、利根英法記念邦楽コンクール第5回古典「箏曲地唄」に出場し、第3位奨励賞を受賞しました。

亀川さんは、卒業後、岡山県内の高等学校に勤務と演奏活動をされていました。また今年度、くらしき作陽大学特任教授の米川敏子先生が、平成30年度文化庁文化交流使に任命され助手として、カザフスタン・イギリス・ドイツの公演に同行し、演奏・補助として海外公演をされます。

#### 〈亀川 真理さん プロフィール〉

箏・三絃を4歳より姫井弘子に、大学にて二代米川文子(人間国宝)・二代米川敏子に師事。平成28年、米川敏子の門人となり、雅号を敏里とする。第46回岡山県新人演奏会出演。平成28年よりモスクワ音楽院創立150周年記念祝賀演奏会などに出演。平成31年、利根英法記念邦楽コンクール第5回古典にて第3位奨励賞を受賞。現在、(公社)日本三曲協会会員、研箏会会員、発展途上国に楽器を送る会会員。高等学校音楽非常勤講師。

## 鶴声会からのお知らせ

### 鶴声会ホームページのご案内

平成30年9月に同窓会ホームページを開設しました。これまで発行した同窓会会報誌、同窓会鶴声会の後援申請、卒業生の主催される演奏会、講演など順次ご案内させていただきます。

●ホームページアドレス <http://sakuyokakuseikai.iinaa.net/>

●ホームページ掲載の情報提供は

〒710-0292 岡山県倉敷市玉島長尾3515 くらしき作陽大学 同窓会鶴声会

電話番号 086-523-0888 E-Mail [katayama@ksu.ac.jp](mailto:katayama@ksu.ac.jp) までお願いいたします。



### 鶴声会後援名義使用申請について

#### ●同窓会鶴声会后援申請の手順

イベント、演奏会、講演会などを開催する際、くらしき作陽大学同窓会鶴声会后援(名義使用)を希望される場合は、以下をご確認のうえ、お申し込みください。

1. **名義使用申請書**に必要事項を記入(押印)して、**84円切手を同封のうえ**(返信用封筒は必要ありません)、以下の郵送先まで送付してください。申請書は、鶴声会ホームページよりダウンロードし、印刷してお使いください。その際に、実施要項、企画書、趣意書、チラシなどより詳しい事業の内容がわかるものを、申請書と一緒に送ってください。



2. 申請内容をくらしき作陽大学同窓会事務局で審査いたします。受理しましたら2週間以内に**後援申請承諾書**ならびに**後援行事実施報告書**を送付いたします。



3. **後援行事実施報告書**につきましては催し物が終了後、その内容・結果についての報告書として再度ご提出ください。

#### ●注意事項

1. 申請提出の期限は、開催日の1ヵ月前までとさせていただきます。期限が迫っている申請はお断りする場合がございます。
2. 後援申請書発送後、また承諾書発行後に、申請内容に変更があった場合は、すみやかにお知らせください。変更の内容によっては後援承諾後でも後援を取り消す場合があります。
3. 準備、運営等でトラブルが発生し、その原因が主催者(申請者)側の落ち度と判断される場合は後援承諾後でも後援を取り消す場合があります。
4. 名義後援の範囲を逸脱すると判断される、くらしき作陽大学同窓会鶴声会名義の使用があった場合は、後援承諾後でも後援を取り消す場合があります。
5. 催し物が終了後、その内容・結果について報告書をご提出ください。

## 新幹事紹介



この度、新しく幹事になりました昭和61年3月に音楽学部教育音楽学科卒業の板野直子(旧姓:土井内)です。

初めての幹事に参加させていただいた際、年齢や学部や職種を超えた幹事の皆さんが鶴声会発展のために真剣に議論されている姿に大変感動いたしました。

いろいろな方々がお忙しい仕事の時間をやりくりされながらこの鶴声会を支えてくださっていることに改めて心より感謝いたします。

卒業後、中学校で教鞭をとった後、夫の転勤で熊本、神奈川、東京、沖縄、岡山と転居しました。

どこの地でも、懐かしい再会を通して仲間と共に新たな演奏活動ができました。これも鶴声会のおかげだと思います。

現在は倉敷市内の小学校で音楽専科として勤務しています。これまで同様、鶴声会の発展と全国の鶴声会の皆様との絆を大切に深めていけますようお願いいたします。どうぞよろしくお願いいたします。



本年度より、鶴声会幹事に着任いたしました。食文化学部食生活学科4期生の田井志帆子です。現在は、中学校で家庭科教諭・特別支援学級担任として勤務しております。『教える』立場ではありませんが、生徒たちに気づかせてもらうことが多く『教えてもらう』日々です。私は、在学中だけでなく卒業後も先生方に支えていただき教諭になりました。当時教えていただいた知識や技術は、今も授業につながっており感謝しております。

現在の鶴声会では、食文化学部や子ども教育学部のつながりが少ない状態です。自分自身も食文化学部の方とのつながりは少なく、趣味で楽器を弾くことから音楽学部の方にお世話になるほうが多いくらいです。私は、栄養士や家庭科教員が、情報を交換できる場があってもよいのではないかと考えております。微力ではございますが、卒業生の皆様がつながる機会をもてるよう、努力いたしますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



本年度より鶴声会幹事をさせていただきます、食文化学部栄養学科1期卒の窪田紀之です。私は現在、岡山市内にあります特別養護老人ホームで勤務しています。また、岡山県栄養士会に所属し、活動にも参加しています。食文化学部栄養学科1期生が卒業して、今年で12年になります。12年もたつと、住所や職場が変わったり、結婚されたりと生活環境が大きく変わっていると思います。幸いにも、私は給食経営管理の学外実習を通じて、母校との交流を続けられていますが、卒業後に一度も母校を訪れたことが無い卒業生もいるのではないかと思います。栄養学科1期生では卒業後に大きな同窓会を開催したことが無かったので、これを機に同窓会活動の力になればと思います。よろしくお願い致します。



この度、大学同窓会鶴声会の幹事に着任しました、子ども教育学部H24年卒業の平松朋子(写真左)、H25年卒業の伊藤諒美(写真右)です。大学時代は、ゼミで絵本についての研究や特別支援についての研究をしたり、『児童文化部ぱれっと』に所属し人形劇やパネルシアター、絵本の読み聞かせ等の活動をしていました。卒業後は大学で学んだ知識や経験を生かせる仕事につきたいと考え、くらしき作陽大学附属認定こども園に就職し、現在こども園保育教諭として日々こどもたちとの学びを大切に仕事をしています。

同窓会鶴声会では、子ども教育学部の卒業生代表として、くらしき作陽大学の発展および子ども教育学部の飛躍を応援していけるように頑張っていきたいと考えております。また、鶴声会では、子ども教育学部の卒業生の役員を若干名募集しています。興味のある方がいらっしゃいましたらご連絡をお待ちしております。

今後とも、鶴声会運営につきましてご協力賜りますよう、よろしくお願いいたします。

## 大学からのお知らせ

### 作陽ヘルスケアレストランの紹介

食文化学部では、平成25年度に学生の実践力育成のために学内でレストランを開設しました。

学生が自ら健康的な食事や食生活をデザインし、実践できるようになるための食に関する意識の高揚と健康増進を図ることを目的としています。

一般公開の機会には、是非学生が考案した食事を味わってください。



七夕献立



ハロウィン献立



秋の献立



クリスマス献立



### レシピブックについて

株式会社ハローズとの連携によって「500kcal台のバランスメニュー」を発行しました。

2019年4月には第4弾も仕上がりました。

レシピカードタイプのものはハローズの店頭にも置いてありますので、お手に取ってくださると幸いです。



### 卒業生の子の入学金減免制度について

種別	減免	金額	入学金全額
採用人数	採用者数に制限なし		
内容	新入学生(大学院生を除く)の保護者(戸籍上の両親)が本学(くらしき作陽大学、作陽音楽大学、作陽短期大学)の卒業生である場合に入学金を還付する制度です。該当する学生は所定の期日までに教育支援室に申し出て、その指示に従って必要書類を提出してください。ただし、特待生制度との併用はできません。		

※卒業生の方で大学の学生募集要項などご希望の方は同窓会事務局または大学までご一報ください。



### 2020年4月採用 教員採用試験合格者速報！(2019年10月25日現在)

音楽学部	食文化学部	子ども教育学部		
音楽教諭	家庭科教諭	保育士・幼稚園教諭等	小学校教諭	特別支援学校教諭
19名	1名	10名	12名	4名
うち現役	うち現役	うち現役		
10名	0名	10名	12名	4名

みなさまの地域でお世話になります。今後ともよろしくお願いいたします。